

令和4年度（2022年度）八代高等学校シラバス

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ
学年・類型	1 学年・全クラス	単位数	2
教科書	MOUSA①（教育芸術社）		
副教材	Music Note		
科目目標	（１）曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。 （２）自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。 （３）主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。		
学習方法	A表現(1)歌唱(2)器楽(3)創作、B鑑賞 A表現の分野とB鑑賞の分野を〔共通事項〕をもとに関連させながら教科書や副教材を中心に知識や技能を身に付けたり、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度を養う。また、合唱や合奏、グループ活動を通して主体的・協働的に音楽表現を生み出したり音楽を評価してよさや美しさを味わって聴いたりする。		

評価の観点		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び多様性について理解している。 【知識】 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作などで表している。【技能】	・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。	・音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている

評価方法		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①実技テスト（実技発表） ②ワークシート	①批評文 ②ワークシート	①観察 ②ワークシート

各学期及び学年の成績算出方法について
観点別評価 知識・技能 40% 思考・判断・表現 40% 主体的に学習に取り組む態度 20%

学期	学習内容	評価規準（到達目標B規準）と到達度チェック（自己評価）			評価方法
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
1 学期	正しい発声を身に付けよう 「校歌」「Lemon」 「翼をください」 「負けないで」「若者のすべて」	☐ 姿勢や身体の使い方、呼吸法、発声法など、音楽表現をするために必要な知識や技能を身に付けている。 ☐ 曲想と歌詞が表す情景や心情との関わりを理解している。【知識】 ☐ 声の音色や強弱、旋律などの音楽的な要素を生かした表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。【技能】	☐ 姿勢や身体の使い方、呼吸法、発声法などに気をつけて曲にふさわしい表現になるよう工夫している。 ☐ 曲想と歌詞が表す情景や心情との関わりを感じ取り、音色や強弱、旋律などの音楽的な要素を知覚し、それらを生かしてどのように歌うかについて表現意図をもっている。	☐ 姿勢や身体の使い方、呼吸法、発声法などに関心を持ち、音楽表現と結びつけて歌うことを心がけている。	知② 技① 思② 主① ②
	ヴァイオリンとギターに挑戦しよう 「きらきら星」	☐ 楽器の特徴や音色、基本的な奏法を理解している。【知識】 ☐ 楽器の基本的な奏法を身に付けている。【技能】	☐ どのように身体を使うと楽器の特徴や音色を生かした奏法を習得できるかをイメージしている。	☐ 楽器の特徴や音色に関心をもち、それらを生かして基本的な奏法を身に付ける学習に主体的に取り組んでいる。	知② 技① 思② 主① ②
	オペラに親しもう 「カルメン」鑑賞	☐ 劇中の楽曲の曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりを理解している。【知識】	☐ 劇中の楽曲のリズムや旋律、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したことに関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。	☐ オペラに興味を持つとともに、場面の状況や登場人物の心情などを手がかりに音楽の特徴を感じ取る学習に主体的に取り組もうとしている。	知② 思① ② 主① ②
	オペラの場면을イメージし、「ハバネラ」「闘牛士の歌」を豊かな表現で歌おう	☐ 音楽の構造や歌詞の内容、場面の状況、登場人物の心情などを理解している。【知識】 ☐ 曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。【技能】	☐ 楽曲のリズムや旋律、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したことに関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。	☐ 物語の内容、登場人物の役割や心情などが言葉や声に表現されていることに関心をもち、意欲的に歌唱に取り組もうとしている。	知② 技① 思② 主① ②
2 学期	ミュージカルを鑑賞しよう 「レ・ミゼラブル」	☐ 「レ・ミゼラブル」の内容及び楽曲の特徴と文化的・歴史的背景を理解している。【知識】	☐ 音色、リズム、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取り、声や楽器の音色の特徴と表現上の効果との関わりを感じ取り、楽曲を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いて	☐ 物語の内容、登場人物の役割や心情などが声・楽器・舞踊などに表現されていることに関心をもち、意欲的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	知② 思① ② 主① ②

			いる。		
	ミュージカル・ナンバーを歌おう 「夢やぶれて」「民衆の歌」	☐ 物語の背景、歌詞の内容、登場人物の心情などと曲想との関わりを理解する。【知識】 ☐ 曲種にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けて歌っている。【技能】	☐ 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、曲想を物語の背景や登場人物の心情などと関わらせて感じ取り、自分なりのイメージでどのように歌うかについて表現意図をもっている。	☐ 物語の背景、歌詞の内容、登場人物の心情などと曲想との関わりに関心をもち、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	知② 技① 思② 主① ②
	歌曲に親しみ、独唱に挑戦しよう 「Heidenroslein」 「Caro mio ben」	☐ 言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりを理解している。姿勢や身体の使い方、呼吸法、発声法、言葉の発音など、音楽表現をするために必要な技能を身に付けている。 ☐	リズム、旋律、拍子を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。	☐ 歌と伴奏それぞれの役割に関心をもち、調和の取れた表現をする学習に主体的に取り組もうとしている。	知② 技① 思② 主① ②
3 学 期	旋律の雰囲気を変化させよう 「星に願いを」の旋律を変奏しよう	☐ 音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。【知識】 ☐ 変化の手法を活用して音楽を作る技能を身に付け、創作で表している。【技能】	☐ リズム、旋律、拍子を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	☐ リズム、旋律、拍子に関心をもち、表したいイメージをもちながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。	知② 技① 思② 主① ②